

横浜市感染症発生動向調査報告 11月

《今月のトピックス》

- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 伝染性紅斑の報告数が多い状態が続いています。
- 百日咳の報告が34件ありました。

◇ 全数把握の対象

〈11月期に報告された全数把握疾患〉

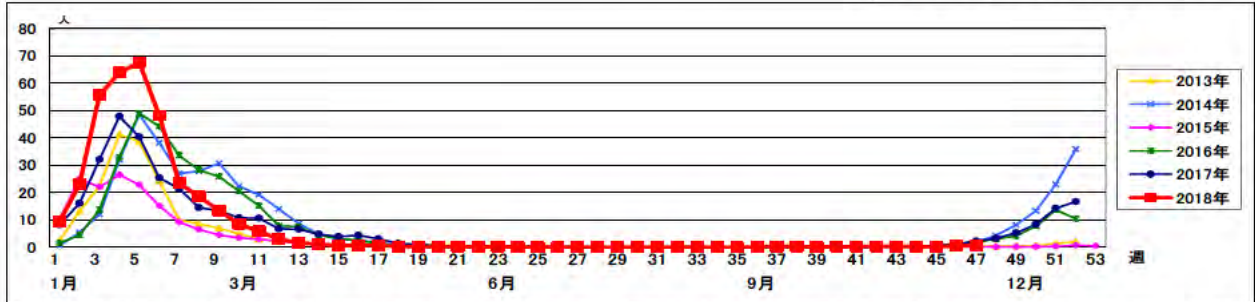
細菌性赤痢	3件	急性脳炎	2件
腸管出血性大腸菌感染症	6件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	2件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	3件
A型肝炎	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
デング熱	4件	水痘(入院例に限る)	3件
レジオネラ症	4件	梅毒	7件
アメーバ赤痢	4件	破傷風	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5件	百日咳	34件
急性弛緩性麻痺	1件	風しん	39件

- 1 細菌性赤痢:ハワイでの経口感染と推定される報告(sonnei(D群))が2件、感染経路等不明の報告(flexneli(B群))が1件ありました。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157の報告が5件(うち1件が無症状病原体保有者)、O145の報告が1件ありました。
- 3 E型肝炎:経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 4 A型肝炎:同性間の性的接触と推定される報告が2件、経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 デング熱:4件の報告(感染地域はマレーシア、インド、タイ、ベトナム)がありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が4件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が4件あり、国内での異性間の性的接触が1件、カンボディアでの経口感染が1件、感染経路等不明が2件でした。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 9 急性弛緩性麻痺:ポリオ含有ワクチン接種4回ありの幼児の報告が1件ありました。
- 10 急性脳炎:小児および70歳代の報告が1件ずつあり、いずれも病原体はVZVでした。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:乳児の報告が1件ありました。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):AIDSの報告が1件(感染経路等不明)、無症状病原体保有者の報告が2件(中国での異性間性的接触が1件、タイでの同性間性的接触が1件)ありました。いずれも男性でした。
- 13 侵襲性肺炎球菌感染症:60歳代の報告が2件(ワクチン接種なし1件、不明1件)、70歳代の報告が2件(ワクチン接種なし1件、不明1件)ありました。
- 14 水痘(入院例に限る):10歳代の報告が1件(ワクチン接種あり)、20歳代の報告が1件(ワクチン接種不明)、80歳代の報告が1件(ワクチン接種不明)ありました。
- 15 梅毒:7件の報告(無症状病原体保有者3件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件)がありました。いずれも感染地域は国内、感染経路は性的接触で、異性間が4件、異性間および同性間が1件、詳細不明が2件でした。男性4件、女性3件でした。
- 16 破傷風:10歳代の報告が1件(ワクチン接種あり)ありました。
- 17 百日咳:10歳未満では乳児が5件(ワクチン接種あり1件、なし4件)、小児が15件(ワクチン接種あり13件、不明2件)の報告があり、10歳代で10件(ワクチン接種あり7件、不明3件)、20歳代で1件(ワクチン接種あり)、30歳代で2件(いずれもワクチン接種不明)、40歳代で1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 18 風しん:検査診断例36件、臨床診断例3件が報告されています。20歳代6件(ワクチン接種あり2件、なし1件、不明3件)、30歳代13件(いずれもワクチン接種不明)、40歳代14件(ワクチン接種なし2件、不明12件)、50歳代5件(ワクチン接種なし1件、不明4件)、60歳代1件(ワクチン接種あり)でした。男性35件、女性4件でした。

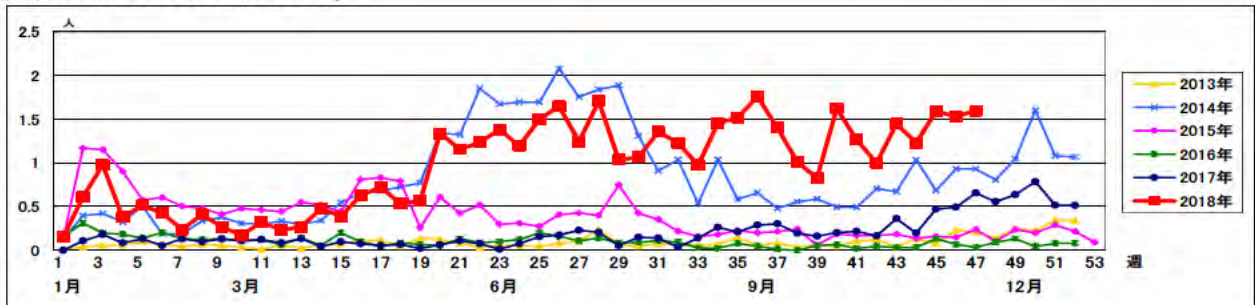
◇ 定点把握の対象

1 インフルエンザ: 流行開始の目安となる定点あたり1.00は超えていませんが、第45週は0.18、第46週は0.51、第47週は0.73と増加しています。

報告週対応表	
第44週	10月29日～11月4日
第45週	11月5日～11月11日
第46週	11月12日～11月18日
第47週	11月19日～11月25日



2 伝染性紅斑: 2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第47週では定点あたり1.60となっています。



3 性感染症(10月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:5件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:5件	女性:2件	淋菌感染症	男性:11件	女性:1件

4 基幹定点週報

	第44週	第45週	第46週	第47週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.33	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.33	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.25	0.33	0.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(10月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

11月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点41件、内科定点15件、基幹定点17件、眼科定点5件、定点外医療機関から搬入された検体は16件でした。

12月7日現在、ウイルス分離15株と各種ウイルス遺伝子17件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(11月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ	咽 頭 結 膜 熱 (ア デ ノ 感 染 症 含 む)	RS ウ ィ ル ス 感 染 症	手 足 口 病	脊 髄 炎	熱 性 け い れ ん	発 熱
インフルエンザ AH1pdm型			9						
インフルエンザ AH3型			3						
アデノ 2型				1					
アデノ 3型	1								
パラインフルエンザ 1型	1	1							
ヒトメタニューモ	1	2							
RS		1	1		1				
ヒトコロナ 229E or NL63									1
ライノ	2	2	1				1		1
ヒトパレコ(型未同定)								1	
コクサッキー A16型						1			
合計	1 4	0 6	12 2	1 0	0 1	1 0	0 1	0 1	0 2

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウィルス担当 】

〈細菌検査〉

「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件、レジオネラ菌1件、肺炎球菌2件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件、バンコマイシン耐性腸球菌3件の依頼がありました。

保健所からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌7件、腸管出血性大腸菌6件、キャンピロバクター1件となっています。

「分離同定」の依頼は、非定点からレプトスピラ8件、ボレリア3件、基幹定点からは真菌1件の依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌4件の依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(11月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> (3)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)
	レジオネラ菌	1	<i>Legionella pneumophila</i> 1群
	肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 35型(1)、15型(1)
医療機関 非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Enterobacter cloacae</i> complex(1)、 <i>Klebsiella oxytoca</i> (1)、 <i>Citrobacter freundii</i> (1)、 <i>Pantoea</i> spp (1)
	バンコマイシン耐性腸球菌	3	<i>Enterococcus faecium vanB</i> 保有
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	7	<i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Enterobacter aerogenes</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)、 <i>Serratia marcescens</i> (1)、 <i>Cedecea davisae</i> (1)
保健所	腸管出血性大腸菌	6	O157:H7 VT1VT2(3)、O157:H7 VT2(1)、O157:H- VT1VT2(1)、O145:H- VT2(1)
	キャンピロバクター	1	<i>Campylobacter jejuni</i>

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関 非定点	真菌	全血(スミア)	1	<i>Skeletocutis semipileata</i>	
		全血	4	nested-PCR(不検出)	
	レプトスピラ	尿	4	nested-PCR(不検出)	
		ボレリア	血清	2	PCR 不検出 抗体(IgG-、Borderline、IgM-)
			血液	1	PCR 不検出
保健所	レジオネラ菌	喀痰	1	不検出(培養法)	

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	4	A群 T28(1)、A群 TB3264(2)、不検出

【 微生物検査研究課 細菌担当 】